

駿府城跡天守台の発掘調査はじまる

駿府城跡天守台の発掘調査を8月9日(火)から始めました。田辺信宏市長の号令を合図に、公募で選ばれた発掘作業員約40人がスコップを手に、重機



発掘調査開始を号令する田辺市長、後藤会頭ほか



天守台西の石垣の発掘調査を開始

で掘り出した天守台の北西角の石垣に向かいました。発掘作業員は、家康公愛用の歯染具足風ヘルメット、葵紋入りピンスを着用しています。発掘調査は、駿府城跡天守台の整備方針の決定に向けて、天守台石垣の残

存状況の確認や正確な学術的データを得るため、2016年8月から2020年2月まで行います。

2016年度は、9月末までに重機で天守台の南西角を発掘するとともに、人力により天守台の北西角から南西角までの天守台と本丸堀の石垣などの発掘調査を行います。

9月13日～11月24日には、小学生・中学生を対象に体験発掘を行い、10月22日と2017年2月25日には、調査員による現場説明会を開催する予定です。

その後、2017年度は天守台の北東角や天守台南の本丸堀延長を検出。2018年度は天守台北の本丸堀延長や天守台入口などを検出。2019年度は天守台の下層、今川時代の遺構を検出します。

現場には、発掘調査現場を常時観覧できる見学ゾーンを設け、巨大な天守台が徐々に姿を現す様子を見ることが出来ます。

現場に併設した「発掘情報館 きやつしる」(開館9時～16時30分)では、駿府城紹介ビデオの放映、駿府城の基本情報、過去に駿府城跡から発掘した高級陶磁器、しゃちほこ、建物の柱、石垣の桐木、鉛の塊、瓦などを展示しており、今後は発掘調査の速報を展示します。入場無料。

「見て歩いてなるほど!」 駿府城まるわかり

駿府城とは、どのような城であったのか。絵図や文献などの歴史資料調査と過去約30回にわたる発掘調査から、謎に包まれた、その姿に迫る駿府城ガイドブック「見て歩いてなるほど!」 駿府城まるわかり」を作成しました。内容は次の通り。

- 駿府城の基本情報
- 徳川家康と駿府城築城
- 江戸時代の駿府城
- 廃城とその後
- 今川氏の拠点となる前の駿府城周辺
- 今川氏の時代と今川館
- 駿府城を歩く
- 駿府城下町
- 今川氏・家康公のゆかりの地マップ
- 今川氏・駿府城・徳川家康略年表
- 「発掘情報館 きやつしる」横の発掘調査現場事務所で1冊500円で販売しています。

二ノ丸堀

